



奈川の人口	
平成26年9月1日現在	
総世帯数	362世帯
総人口	817人
男	385人
女	432人
発行	奈川公民館
発行者	勝山裕康
編集者	公民館編集委員会
印刷	(株)プラルト

奈川地区社協 ふれあいまつり盛大に



8月23日、ほのぼのの広場にふれあいまつりが開催されました。秋の気配を感じさせるさわやかな風が吹く中、屋台や出店・バザーなどが行われ、会場内は大勢の方でにぎわっていました。

アトラクションとしては、奈川中学校吹奏楽部の息のあった演奏を皮切りに、化粧をほどこし、いつもより大人びた表情にて舞った小学生に

よる民舞や、民舞の先生による迫力ある剣舞も披露され、大きな拍手が送られていました。

沖繩の「エイサー」をもとに空手の型やロックの要素を取り入れて独創的な踊りをくり広げる琉球國祭り太鼓のステージでは、最後の一曲を会場の方々と一緒に踊り、大いに盛り上がりをおこしていました。

地震体験車がやってきた

7月27日、文化センター夢の森の駐車場に地震体験車がやってきました。過去に実際に起こった大地震や、起こるであろうと想定されている地震の体験ができるということで大勢の方が足を運んでいました。



「これがい、こわい」「これが本当にあったことなの？」との声があふきかた、地球が時折みせる脅威を疑似体験できたようです。

が床に固定されているのに、激しく揺れるにイスに座っていることができません。机の足にしがみつこうにしてしやがみこんでしまった子どもたち。「こわい、こわい」「これが本当にあったことなの？」との声があふきかた、地球が時折みせる脅威を疑似体験できたようです。

今年も響きます！子どもたちの屋形太鼓



昨年公民館講座として復活した屋形太鼓。今年も7月から10人の子どもの参加で始まりました。

性別も世代も関係なく、参加した皆が一緒に楽しい時間を過ごすことができた、夏の終わりにふさわしいすてきな祭りとなりました。

第8回 ナイターソフトボールリーグ戦結果

優勝	みよりAチーム
準優勝	みよりBチーム
第3位	古宿チーム

※第55回地区ソフトボール大会は、10/5に予定しています。

新しく始めた子どもたちは、太鼓の迫力ある響きにワクワク。昨年度から続けている子どもたちの中には、しばらくお休みしていたので、すっかり打ち方を忘れてしまっていた子どもも。

今年新しい曲にチャレンジして頑張っています！

テディベア講習会



8月3日、『テディベア講習会』を開催しました。参加者は6名。夏休みということもあって、中学生も参加してくれました。先生は、東京にお住いのテディベア作家、「くまのおかあさん」こと村瀬公子さん。参加者の中には、一度機会があれば村瀬先生に教えて頂きたいと、

心待ちにされていた方も。「テディベアってどうやって作るの？」見ることはあっても、作るのは皆初めて。まずはピンク・ブラウン・ホワイトの中から好みの色を選びます。

「二から縫うのかな...?」とちよつと不安だった参加者も、ほとんど頭と胴体が出来ているオリジナルキットをみて一安心。しかし、

安心してのもつかの間、頭と胴体に綿を詰める作業は結構大変で、ふわふわのテディベアからは想像できない位、しつかりと固く綿を詰めます。皆、汗だくで夢中になってやりました。テディベア作りは思った

よりずつと力が必要でした。綿の詰め具合や目鼻のちよつとした位置の違いで、それぞれ表情が変わるのも楽しかったです。

出来上がったテディベアをお互いに見ながら、それぞれに「いい顔」に仕上がったと、参加者も笑顔になりました。先生は「自分のくまちゃんが一番かわいいものですよ」とおっしゃっていました。

夏はスイカだ！ 子ども地区行事

7月28日、みよりの子どもたちがスイカ割をしました。周りの声援をたよりに狙い、うまくスイカに当てていました。その

あとは花火をして短い奈川の夏を楽しみました。



奈川の子の元気な夏休み

8月5日、福祉ひろば主催の「自慢の奈川を写真に撮ろう会！」に19人の子どもたちが参加しました。

古宿地区に設置した各ポイントのクイズを解きながら歩いて、気になったものや、いいなあと思ったものをカメラに収めていました。

小学4年生の高田稔里さんは、「綺麗な花をたくさんデジタルカメラで撮って、クイズを解きながら歩きました。古宿の広い場所に行つて、下へ降りる坂があるこ



稔里さんが撮った写真

とを知らなかったので、びっくりにしてウキウキしました」と感想を言っていました。撮ってきた写真は、子どもならではの視線で撮られた写真や、大人のような出来ばえの写真もあり、自分で一番のお気に入りを選びました。



奈川の歴史発見！③

ダム建設により水没した角ヶ平と松竹

明治時代に入ると、石像仏の建立ラッシュが始まります。年号が判別された物の中で、江戸時代の西暦1700年から幕末までの169年間では61体に対し、明治時代の45年間では、64体もの石像物が建立されました。特徴的なことは、馬頭観音と大日如来が数多く建立されたということです。

奈川村は『尾州岡船』と呼ばれる牛稼ぎの村でありました。『尾州岡船』が衰退した後も自動車での運送が始まるまでは、貴重な輸送手段として牛馬が活躍し、道中の安全祈願や無病息災を願って、また不幸にも病氣や事故で亡くなってしまった牛馬の供養として建立されました。その中で今回は、田ノ萱の『大日如来』と金原の『馬頭観音』を紹介します。

田ノ萱の大日如来は、奈川渡草花を清潔な瓶に入れ、砂糖水をひたひたに注ぐだけ！温かい場所に置いて、一日一回蓋を開けてあげると、果物などに付いていた酵母菌が、プクプク、プシューッと毎日元気に育つていき、成長ぶりが楽しめます。空気中に浮遊している見えな菌も関係するので、同じ材料で同じように育てても、違うものが出来上がったり奥が深い。出来上がった酵母で、娘はパンを焼きました。



金原『馬頭観音』



田ノ萱『大日如来』

※尾州岡船…近世初頭より明治時代に至る約300年間、尾張藩の公認を受けた奈川牛稼ぎ(牛による運送業)の事

野麦路



今年雨が続いて、暑さを味わう前に夏が終わってしまいましたね。うちの娘は、夏休みの自由研究で酵母を育てていました。酵母は、お酒やパン作りに欠かせない微生物。育て方は、好きな果物や

パン以外にもそのまま酵母ジュースとして飲んだり、料理に使ったり。これから涼しくなつてしましますが、コンロの周りや温かい所を見つけて、色んな酵母を育ててみようと思います。

(古市 万紀)